

中央公園広場で
竹灯りと切り絵の
イルミネーション
始まりました！

2022年
7月10日まで毎晩
7時に点灯します！
お見逃しなく！



みずき野ひろば、と光る竹灯りはどこにあるでしょう？



集会所の窓を飾る切り絵のイルミネーション

竹灯りの設置

夏と冬、すっかりみずき野の風物詩となった竹灯りと切り絵のイルミネーションが今年もきれいに点灯しました(6月19日)。

製作・設置は、夏まつりのお化け屋敷からスタートし、出前サンタクロースなども手がけるなど、みずき野のイベントをいつも盛り上げてくれる妖怪研究所の皆さん。出先で見かけた竹灯りにヒントを得て、代表の根本さんが町内会での竹灯りのイルミネーションを提案。2018年の冬に試験的に始まり、コロナ禍でイベント活動が制約される

中でも工夫を重ねて規模も大きくなり、今回で7回目となりました。

竹は乾燥すると割れたり色も変わってしまうので毎回作りかえる必要があります(竹の調達から製作の過程は→[こちら](#))。設置作業は梅雨の合間の炎天下で汗だくです。電気工事士の資格をもつ根本さんをはじめ、仲間の皆さんが現役時代から培ってきたさまざまな技術や回を重ねて得られたノウハウを活かしてテキパキと作業を進めている姿は格好良かったです。



竹を上部で固定する特製の台座は昨年制作し、今回は固定を確実にする加工を施して安定感が増しました。



竹を支える支柱を固定するのに、今年は金属のビスを予め木の切り株埋め込み、設置も撤去も楽にできるように工夫。



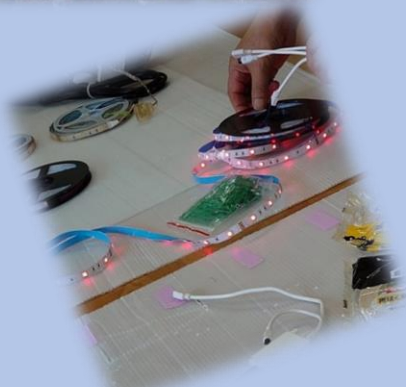
これが肝心!
集会所から電源を引く作業。

竹が組み上がったら、次にこの竹の中に
LED ライトを仕込んでいきます。



集会所窓に切り絵の設置

集会所の窓を飾る切り絵も幻想的で素敵です。妖怪研究所の初代代表の岡本さんの力作と伺い、その完成度の高さに驚きました。



窓の内側に設置するテープ状の LED ライトの点灯試験。
ライトは窓の内側に設置します。切り絵を外からはめ込んで完成!

妖怪研究所の皆さん、ありがとうございます！！

そして、早くも冬のイルミネーションについても新たな構想が膨らんできているようで、楽しみが続きます。一番左が代表者の根本さん。



メンバーは左から、根本、宮本、西本、宮田、米田、梶原、大塚、小林、片山、森本、右上はこの日不在の松村（敬称略）（写真撮影のためにマスクを外してもらいました。）

（広報委員）